

# エコアクション 21

## 環境経営レポート

(2023 年度版)

2023 年 8 月 1 日～2024 年 7 月 31 日

発行日：2024 年 10 月 18 日



**有限会社 塩田環境開発**

佐賀県嬉野市塩田町大字谷所甲 4437-1

# 目 次

1	事業の概要	
1)	事業者及び代表者名	2
2)	所在地	
3)	法人設立年月日	
4)	資本金	
5)	環境管理責任者	
6)	連絡先	
7)	事業活動の内容	
8)	対象事業範囲	
9)	事業規模	
10)	情報公開項目	3~5
2	エコアクション21推進組織図	6
3	環境経営方針	7
4	環境負荷の状況（2023年度取りまとめ表）	8
5	環境経営目標	9
6	環境経営活動計画	10
7	環境経営目標の達成状況及びその評価結果	11
8	環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	12
9	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	13
10	代表者による全体評価と見直しの結果	14

# 1 事業の概要

## 1) 事業者名及び代表者名

有限会社 塩田環境開発  
代表取締役 小森 直樹

## 2) 所在地

〒849-1422  
本社 佐賀県嬉野市塩田町大字谷所甲4437-1  
倉庫兼車庫 佐賀県嬉野市塩田町大字谷所乙531  
積替保管施設 佐賀県嬉野市塩田町大字久間丙4646-1  
TEL 0954-66-4160 FAX 0954-66-4760

## 3) 法人設立年月日

1990年1月14日

## 4) 資本金

300万円

## 5) 環境管理責任者

環境管理責任者 尾形 直樹

## 6) 連絡先

連絡担当者及び事務局 尾形 直樹  
TEL : 0954-66-4160 FAX : 0954-66-4760  
E-mail: info@shiokan.jp

## 7) 事業活動の内容

- ・一般廃棄物収集運搬業
- ・産業廃棄物収集運搬業
- ・浄化槽保守点検業
- ・浄化槽清掃業
- ・建築物排水管清掃業

## 8) 対象事業範囲

全事業・全組織を対象範囲とする。

## 9) 事業規模

項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
		2019年8月～2020年7月	2020年8月～2021年7月	2021年8月～2022年7月	2022年8月～2023年7月	2023年8月～2024年7月
収集運搬量 (一般廃棄物)	t	7,199.2	7,066.9	7,182.5	7,037.2	6,859.1
収集運搬量 (産業廃棄物)	t	51.6	40.6	46.5	50.2	58.5
売上高	百万円	244	252	246	260	269
従業員	人	29	30	27	31	30
床面積	m <sup>2</sup>	2,980	2,980	2,980	2,980	2,980

10)情報公開項目

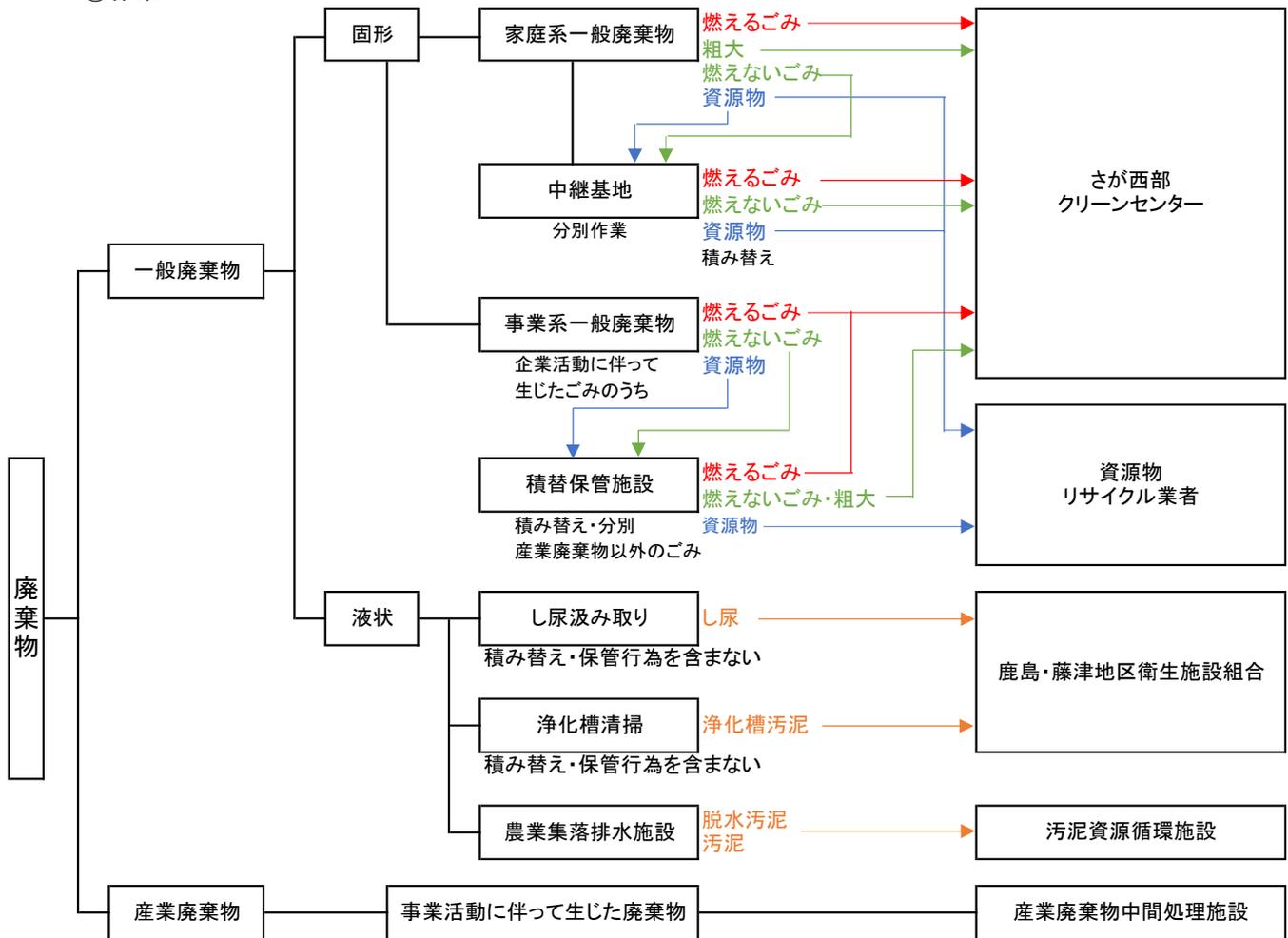
①許可の内容（許可証）

事業区分	許可区域	許可番号	有効年月日	
一般廃棄物収集運搬業 浄化槽汚泥	嬉野市塩田町	嬉環下 第509号	令和 6年4月1日	令和 8年3月31日
一般廃棄物収集運搬業 一般廃棄物(し尿を除く) 特定家庭用機器廃棄物を含む 面積 1095㎡ 容量 490㎡	嬉野市	嬉環下 第459号	令和 6年2月28日	令和 8年2月27日
一般廃棄物収集運搬業 一般廃棄物(し尿を除く) 特定家庭用機器廃棄物を含む	伊万里市	伊環 第35-1号	令和 6年2月28日	令和 8年2月27日
浄化槽清掃業	嬉野市塩田町	嬉環下 第510号	令和 6年4月1日	令和 8年3月31日
浄化槽保守点検業	嬉野市塩田町	杵保福 第9号	令和 5年6月25日	令和 8年6月24日
浄化槽工事業	佐賀県	佐賀県知事(登-3) 第244号	令和 3年6月13日	令和 8年6月12日
建築物排水管清掃業	佐賀県	杵保福3排 第7933号	令和4年3月31日	令和10年3月30日
産業廃棄物収集運搬業 収集運搬業 (積替え・保管行為を含まない)	佐賀県	第04107130403号	令和 3年10月5日	令和 8年9月11日
<p>(産業廃棄物の種類) 燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動物性残さ、ゴムくず、がれき類及び動物のふん尿並びに廃プラスチック類、金属くず及びガラスくず・コンクリートくず、陶器くず(自動車等破砕物を含む。)</p> <p>以上15種類(石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を含み、水銀含有ばいじん等を除く。)</p>				

②施設・設備の状況（保有車両及び台数）

部門名		車種	積載量(単位kg)
一般廃棄物・産業廃棄物 収集運搬	塵芥車	パッカー	4,750
		パッカー	4,750
		パッカー	4,500
		パッカー	4,600
		パッカー	2,350
		パッカー	2,300
		パッカー	2,200
	運搬車両	4tキャブ	4,000
		ユニット	1,950
		3tダンプ	3,000
		2tキャブ	2,000
		軽ダンプ	350
		アームロール	6,000
		清掃ダンプ	2,000
		ブロー	2,500
ブロー	1,700		
一般廃棄物・浄化槽清掃	衛生車	4tバキューム	3,700
		4tバキューム	3,600
		3tバキューム	2,700
		3tバキューム	2,700
		2tバキューム	1,800
		給水車	3,000
		給水車	3,700
浄化槽管理・施設管理	管理車	管理車	750
		管理車	350
工 事	管路清掃・調査	高圧洗浄車	1,900
		小型高圧洗浄車	350
		カメラ車	
その他	フォークリフト	フォークリフト	
		フォークリフト	
		フォークリフト	

③作業フロー

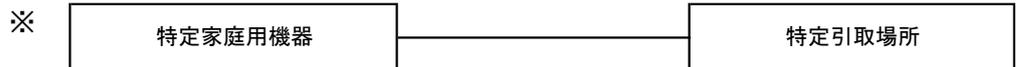


燃えがら・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・ゴムくず・がれき類及び動物のふん尿並びに廃プラスチック類・金属くず及びガラスくず・コンクリートくず陶磁器くず(自動車等破砕物を含む。) 以上15種類

(石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を含み、水銀含有ばいじん等を除く。)

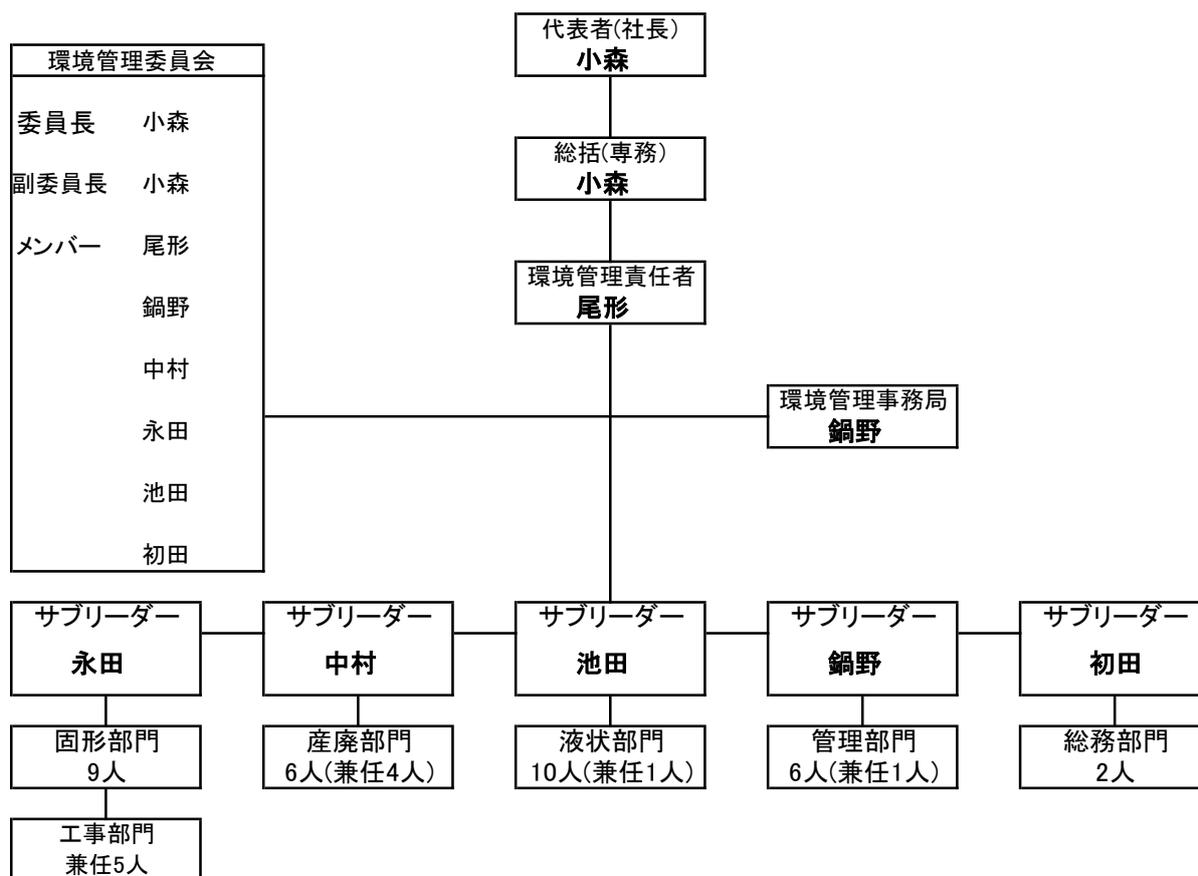
(特別管理産業廃棄物を除く。)

積み替え・保管行為を含まない



積み替え保管施設 面積 1095㎡ 保管上限 490㎡

## 2. エコアクション21推進組織図



	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>経営資源の準備</li> <li>エコアクション21実施体制の承認</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境方針の策定</li> <li>環境経営目標及び環境経営活動計画の承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直し</li> <li>環境経営活動レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>EA-21システムの確立、実施推進、維持管理の統括</li> <li>環境への負荷及び取組への自己チェックの実施</li> <li>環境経営目標及び環境経営活動計画の策定</li> <li>環境関連法規の取りまとめ、緊急事態の想定結果及び、その対応の承認</li> <li>環境レポートの作成</li> <li>EA-21に関する実施把握と報告</li> </ul>
環境管理事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>EA-21責任者の補佐業務</li> <li>環境関連法規の取りまとめ及び厳守状況確認</li> <li>教育、訓練計画の策定と実施(緊急時対応訓練)</li> <li>環境文章及び記録の作成、管理</li> <li>EA-21に関する業務</li> </ul>
環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営目標及び環境経営活動の結果確認</li> <li>EA-21に関する審議</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針の理解と環境経営活動の計画の実施</li> <li>決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

### 3. 有限会社塩田環境開発

## 環境経営方針

#### <基本理念>

有限会社塩田環境開発は、事業活動全般において環境負荷を軽減するため、本業である一般廃棄物収集運搬業・産業廃棄物収集運搬業・浄化槽維持管理清掃業を通じて、全社員で地球温暖化問題（省エネ・省資源）及び環境保全活動に、自主的かつ積極的に取り組む。

#### <行動指針>

1. 当社は環境への負荷削減に向けた環境活動として、重点的に次のことに取り組む。
  - (1) 二酸化炭素排出量の削減（省エネ活動）
  - (2) 廃棄物排出量の削減
  - (3) 総排出水量の削減
  - (4) 化学物質の適正管理
  - (5) 事業活動における環境配慮
  - (6) 環境教育・訓練の推進
2. 環境関連法規を遵守する。
3. 地域社会の一員として、地域環境活動や自治体の施策に積極的に参加する。
4. 環境経営の継続的改善、向上を目指す。

制定日：平成 30 年 12 月 20 日

改訂日：令和 5 年 11 月 8 日

有限会社 塩田環境開発

代表取締役 小森 直樹

## 4. 環境負荷の状況

### 1) 環境への負荷の状況(取りまとめ表)

2023年度 ( 2023年 8月～2024年 7月 )

環境への負荷		単位	2023年度	
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO <sub>2</sub>	109736.6	
	(電気)	kg-CO <sub>2</sub>	8972.7	
	(ガソリン)	kg-CO <sub>2</sub>	7473.7	
	(軽油)	kg-CO <sub>2</sub>	93290.2	
② 受託した収集運搬量	一般廃棄物収集運搬量(家庭系)	t	6252.0	
	一般廃棄物収集運搬量(事業系)	t	607.1	
	産業廃棄物収集運搬量	t	58.5	
	収集運搬量合計	t	6917.6	
③ 排出量及び最終処分量	一般廃棄物	最終処分量	t	0.4
		(循環資源)	t	0.5
	産業廃棄物	排出量	t	0.2
④-1 総排水量	公共用水域	m <sup>3</sup>	600.0	
	下水道	m <sup>3</sup>	0.0	
④-2 水使用量	上水	m <sup>3</sup>	600.0	
	工業用水	m <sup>3</sup>	0.0	
	地下水	m <sup>3</sup>	0.0	
⑤ 化学物質使用量	トルエン	kg	0.0	
	キシレン	kg	0.0	
	メチルイソブチルケトン	kg	0.0	
	エチルベンゼン	kg	0.0	

## 5.環境経営目標

当社の環境経営目標は、環境負荷の調査結果より以下のような目標を設定した。

(目標設定基準:2022年度)

目標/取組項目		環境目標				
		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
1.二酸化炭素排出量の削減(省エネ活動)	単位	(基準年度)	対基準年度△0.3%	対基準年度△0.6%	対基準年度△0.9%	
	①電気使用量の削減	kWh	17863.0	17809.4	17755.8	17702.2
	電気使用量	kg-CO <sub>2</sub>	9444.2	9415.9	9387.5	9359.2
	②ガソリン使用量の削減	ℓ	2924.0	2915.2	2906.5	2897.7
	ガソリン使用量	kg-CO <sub>2</sub>	6783.7	6763.4	6743.0	6722.7
	燃費率の向上	km/ℓ	14.68	14.72	14.77	14.81
	③軽油使用量の削減	ℓ	36144.2	36035.8	35927.4	35818.9
	軽油使用量	kg-CO <sub>2</sub>	93252.1	92972.4	92692.6	92412.8
	燃費率の向上	km/ℓ	5.57	5.59	5.60	5.62
	二酸化炭素の総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	109480.0	109151.6	108823.2	108494.7
※購入電力の二酸化炭素排出係数は、 (九州電力2019年度実績)0.370kg-co2/kwhとしている (アンフィニ(株)2019年度実績)0.531kg-co2/kwhとしている						
2.廃棄物排出量の削減	単位	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
		(基準年度)	対基準年度△0.3%	対基準年度△0.6%	対基準年度△0.9%	
一般廃棄物(産業廃棄物含む)	t	0.504	0.502	0.501	0.499	
3.総排水量の削減	単位	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
		(基準年度)	対基準年度△0.3%	対基準年度△0.6%	対基準年度△0.9%	
上水使用量の削減	m <sup>3</sup>	803.0	800.6	798.2	795.8	
4.化学物質の適正管理	単位	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
		(基準年度)	-	-	-	
化学物質量の把握	kg	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	
5.事業活動における環境配慮の取組		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
		(基準年度)	-	-	-	
	清掃活動の取組 顧客へ環境に対し意識向上を図る取組 新型コロナウイルス感染拡大防止対策	-	記録無し	・年1回以上の会社周辺の清掃活動の実施 ・顧客とのコミュニケーションの場を大切にする。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策		
6.環境教育・訓練の推進		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
		(基準年度)	-	-	-	
社内教育の取組	-	記録無し	・社内教育の実施(社員の環境意識の向上) ・エコアクションガイドラインの研修会の実施 ・環境関連法令の遵守 ・専門分野の研修会の実施			

## 6.環境経営活動計画

目標/取組項目	2023年度目標値	担当部署	担当者	具体的な取り組み内容	
1.二酸化炭素排出量の削減(省エネ活動)	-	全従業員	尾形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務所に人がいない場所は照明を消す。</li> <li>・ポットなどの保温時間を抑える。</li> </ul>	
電力消費量の削減	17809.4(kWh)	総務部	初田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調の使用頻度を減らすなどの更なる節電活動に努める。</li> <li>・電力消費量のCO2の削減に努める。</li> <li>・ブラインドで、熱の出入りを調整する。</li> </ul>	
燃料消費量の削減	(ガソリン)	2915.2(L)	管理部	鍋野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的な収集ルートの設定。</li> <li>・エンジンプレーキの活用。</li> <li>・作業時以外はエンジン停止に努める。</li> </ul>
	(軽油)	36035.8(L)	固形部 液状部	池田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコドライブに対して社員の意識向上に努める。</li> <li>・今後とも継続して燃料消費削減に努める。</li> <li>・積載物で車両が重い場合はアクセルワークを特に注意する。</li> <li>・空気圧測定の計画を立て定期的な測定に努める。</li> </ul>
2.廃棄物排出量の削減	-	全従業員	永田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後ともゴミの分別や紙類の再利用の徹底。</li> <li>・使用済み梱包材の再利用。</li> <li>・無駄な廃棄物を出さないよう3R運動の推進に努める。</li> <li>・駐車場のゴミは水分を抜き処分する。</li> </ul>	
当社からの廃棄物排出量の削減	0.502(t)				
3.総排水量の削減	-	全従業員	中村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洗車時の節水に努める。</li> <li>・水道配管からの漏水を定期的に点検する。</li> <li>・手洗い時、洗い物をする際日常的に節水に取り組む。</li> <li>・水道メーターを毎日見る。</li> </ul>	
水使用量の削減(上水使用量の削減)	800.6(m <sup>3</sup> )				
4.化学物質の適正管理	-	全従業員	鍋野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在庫管理表を作成し適正な在庫管理に努める。</li> <li>・現場作業での適正な使用量に努める。</li> <li>・保管・管理・施錠に努める。</li> <li>・担当者名を表示し、管理責任者を明確にする。</li> </ul>	
5.事業活動における環境配慮の取組	-	全従業員	尾形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務所周辺の環境を向上していく。</li> <li>・浄化槽管理者、顧客との情報の共有を今後さらに深める為説明等をする。</li> <li>・美化活動を積極的に行う。</li> <li>・引き続き新型コロナウイルス感染防止対策に努める。</li> </ul>	
清掃活動の取組 顧客へ環境に対し意識向上を図る取組 新型コロナウイルス感染拡大防止対策					
6.環境教育・訓練の推進	-	全従業員	尾形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も社内教育の活動を通し社員の環境意識の向上に努めていく。</li> <li>・環境問題についての勉強会などを行う。</li> <li>・講習、研修への参加。</li> <li>・緊急時対応訓練の実施。環境関係法令の遵守。</li> </ul>	
社内教育の取組					

## 7.環境経営目標の達成状況及びその評価結果

\* 評価については、110%以上◎ 100.0~109.9%○ 95.0~99.9%△ 80.0~94.9%□ 80%以下×とした

目標/取組項目		2022年度	2023年度	2023年度実績		
1.二酸化炭素排出量の削減(省エネ活動)	単位	(基準年度)	目標(A)	実績(B)	達成率(%)	評価
			(対基準年度)△0.3%		A/B	
①電気使用量の削減	kWh	17863.0	17809.4	16982.0	104.9	○
CO2排出量	kg-CO2	9444.2	9415.9	8972.7		
②ガソリン使用量の削減	ℓ	2924.0	2915.2	3221.4	90.5	□
CO2排出量	kg-CO2	6783.7	6763.4	7473.7		
燃費	km/ℓ	14.68	14.72	13.75		
③軽油使用量の削減	ℓ	36144.2	36035.8	36159.0	99.7	△
CO2排出量	kg-CO2	93252.1	92972.4	93290.2		
燃費	km/ℓ	5.57	5.59	5.51		
(総二酸化炭素排出量)	kg-CO2	109480.0	109151.7	109736.6	99.5	△
※購入電力の二酸化炭素排出係数 (九州電力2019年度実績)0.370kg-co2/kwhとしている		(アンフィニ(株)2019年度実績)0.531kg-co2/kwhとしている				
2.廃棄物排出量の削減	単位	2022年度 (基準年度)	2023年度 目標(A) (対基準年度)△0.3%	2023年度実績 実績(B)	2023年度実績 達成率(%) A/B	評価
当社からの一般廃棄物の削減 (産業廃棄物も含む)	t	0.504	0.502	0.626	80.1	□
3.総排水量の削減	単位	2022年度 (基準年度)	2023年度 目標(A) (対基準年度)△0.3%	2023年度実績 実績(B)	2023年度実績 達成率(%) A/B	評価
上水使用量の削減	m <sup>3</sup>	803.0	800.6	600.0	133.4	◎
4.化学物質の適正管理	-	2023年度 適正管理		2023年度実績 薬品庫の施錠の実施。 出納帳での在庫管理の実施。		◎
5.事業活動における環境配慮の取組	-	2023年度 年1回以上の会社周辺の清掃活動の実施 顧客とのコミュニケーションの場を大切に。 新型コロナウイルス感染拡大防止対策		2023年度実績 年3回清掃活動を実施した。 コミュニケーションがとれた。 新型コロナウイルス感染拡大 防止対策を徹底した。		○
6.環境教育・訓練の促進	-	2023年度 社内教育の実施(社員の環境意識の向上) エコアクションガイドラインの研修会の実施 環境関連法令の遵守 専門分野の研修会の実施		2023年度実績 全社員を対象に環境配慮の取り組み について話し合い環境意識の向上に 努めた。		○

## 8.環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

目標/取組項目	環境経営活動計画の取組結果とその評価		
	2023年度(2023年8月～2024年7月)		
1.二酸化炭素排出量の削減(省エネ活動)	達成率	評価	取組結果と評価
①電気使用量の削減	104.9	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>OA機器の節電は意識的に取組んだ。</li> <li>コロナウイルス対策で、空調使用時にも、窓を開けていたため、使用電力が増加した。</li> <li>エアコンの使用時間を制限し運転時間の削減に努めた。</li> </ul>
②ガソリン使用量の削減	90.5	□	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な車両整備が行えた。</li> <li>効率的な収集ルートによる業務が行えた。</li> <li>無駄な急発進、急加速に注意するよう呼びかけをした。</li> <li>作業時以外のエンジン停止を呼びかけた。</li> </ul>
③軽油使用量の削減	99.7	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>8月、9月が使用量が多い、残暑の影響でエアコン使用が増加した。</li> <li>積載物が重い場合のアクセルワーク、安全運転の呼びかけをした。</li> </ul>
総二酸化炭素排出量	99.5	△	
2.廃棄物排出量の削減	80.1	□	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミの分別を徹底することができた。</li> <li>使用済梱包材を再利用し有効に活用した。</li> <li>社内で使用する資料などは裏紙を利用して印刷、コピーするようにした。</li> <li>駐車場のゴミは水分を抜く事により減少できた。</li> <li>産業廃棄物の排出があり増加した。</li> </ul>
当社からの廃棄物			
3.総排水量の削減	133.4	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>洗車時に節水器具を使用し節水に努めた。</li> <li>手洗い時、洗い物をする際日常的に節水に努めた。</li> <li>水道配管からの漏水を定期的に点検した。</li> </ul>
上水使用量の削減			
4.化学物質の適正管理	-	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>在庫管理表を利用し現状在庫を把握した。</li> <li>保管・管理・施錠に努めた。</li> </ul>
化学物質量の把握			
5.事業活動における環境配慮の取組	-	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務所周辺の清掃を年3回行った。</li> <li>顧客へ浄化槽適正管理の必要性を説明した。</li> <li>新型コロナウイルス感染拡大防止対策のした。</li> <li>使用車の車内消毒・事務所内の消毒を徹底した。</li> </ul>
清掃活動の取組 顧客へ環境に対し意識向上を図る取組 新型コロナウイルス感染拡大防止対策			
6.環境教育・訓練の促進	-	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境教育・訓練を行った。</li> </ul>
社内教育の取組			



## 10.代表者による全体評価と見直しの結果

### 1) 環境経営目標の達成状況

- ① 二酸化炭素排出量削減については、電気使用量は達成できた。  
ガソリン・軽油使用量については、車両変更によりガソリン車の使用頻度が多くなり達成できなかった。
- ② 廃棄物排出量削減については、産業廃棄物の排出見込み違いにより達成できなかった。
- ③ 総排出水量削減については、洗車時の節水に努めたことで達成できた。
- ④ その他の項目については、目標達成できた。

### 2) 次年度の重点的な取り組み

- ① 軽油・ガソリン・電気使用量の削減に取り組み、総二酸化炭素排出量削減に努める。なかでもガソリン・軽油使用量削減については、効率的なルートの見直し、エコドライブに心掛ける。
- ② 廃棄物削減については、ゴミの分別や紙類の再利用を徹底する。
- ③ 総排出水量削減については、節水設備を積極的に取り入れ、社員全員が節水への意識向上に努める。
- ④ 事業活動における環境配慮の取り組みについては、事務所周辺の清掃や環境美化運動を積極的に行う。
- ⑤ 環境教育においては、社員の環境意識向上に努め、エコアクション21の取り組みをツールとし、組織活性化及び経営力向上に向けて必要な人材育成を目指す。

### 3) 総合評価

今年度も未達成となった項目があるが、本取り組みは概ね良好であった。  
次年度も現環境経営システムを引き続き運用・活用し、環境意識向上、  
組織活性化及び経営力向上に努める。

令和6年10月17日  
有限会社 塩田環境開発  
代表取締役 小森 直樹